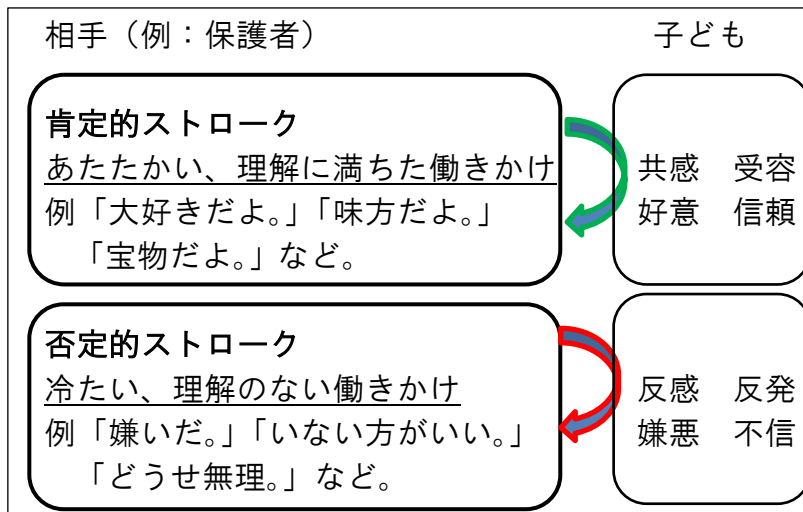




ストローク(働きかけ)はブーメラン ～肯定は肯定を招き 否定は否定を招く～



抱っこ、おんぶ、ほほえむ、うなづく、ほめる、認めるなどのあたたかい、理解に満ちた働きかけの肯定的ストロークをいっぱい受けると相手に共感し受容します。反対に、叩く、怒鳴る、悪口を言う、にらむなどの冷たい、理解のない働きかけの否定的ストロークを継続して受けると、反発し嫌悪することがあります。次の文章はお母さんへの感謝の手紙です。

お母さんへ
 私が小学校に入学して6年。あと、半年でもう卒業だね。
 家の前の道路が通学路だけど、車の交通量がとても多いよね。特に朝の登校する時間帯が多いから、入学したときに「心配だなあ、危ないなあ。」とお母さんが言っていたのを覚えているよ。
 それから6年。毎朝私が学校に行くとき、ギューツと抱きしめて「車に気を付けてね。今日も1日頑張ろうね。」と声をかけて送ってくれているよね。私の姿が見えなくなるまで、ずっと見ていてくれて、曲がり角で振り返ると笑顔で両手を振ってくれているよね。まるで「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」と会話をするみたいにお互いに手を振り合うのも6年間毎日続いているね。おかげで私は気持ちよく学校に登校することができているよ。ありがとうね。
 夕ご飯を食べながら学校やお友達のことを話すと、じっくり話を聞いてくれて、悩みがあるときには、一緒に悩んで解決する方法を考えてくれるよね。私は一人じゃないんだなあと思えて、とてもうれしいよ。
 夜寝るときには朝と同じように、ギューツと抱きしめて「今日も1日元気に過ごせたね。ありがとうね。」と言ってくれるよね。私と弟をいっぱいいっぱいギューツとして大切に想ってくれてありがとう。たくさんの愛情を感じているよ。私は幸せです。

お母さんからの肯定的ストローク(笑顔、抱きしめる、手を振る、話をじっくり聞くなど)を娘さんはしっかりと受け止めて感謝し、愛情をいっぱい感じています。だから、お母さんのことが大好きです。信頼しています。肯定的ストロークには肯定的ストロークが返ってくるようです。親としての権威は、威張ったり、恐れられたりすることではなく、子どもからの信頼を得て、「お母さん、お父さん、大好きだよ。」と言われることではないでしょうか。

補導状況報告から

13人の補導員と当センター職員が毎月、巡回補導をし、必要に応じて声かけをしています。7月末までの報告の中で最も多かったのが自転車のノーヘルメット(22件)です。私たちが見かけていない分も考えると相当数になると思われます。本人も予期しないときに事故は発生するものです。ヘルメットを着用していたので命が助かった事例があります。「自分の命は自分で守る」という気持ちを持ち、万が一に備えてきちんと着用してほしいです。

家庭や学校でも、繰り返し児童生徒へのご指導をお願いいたします。